

石川島記念病院 坂井るみ子(看護師) 瀬野尾志津香(看護師) 波多野尚美(看護師)

功 績 全職員へ院内感染防止対策の教育を実施し、実践可能な状況まで行い COVID-19専門病床オープンに向けて貢献した功績。

推 薦 者 丸山 恭子(看護部長)

推 薦 理 由 短期間に全職員の感染対策の教育を実施していくことは、スケジュールの調整に始まり多くの労力が必要です。3名の看護師は快く指導にあたり、多職種からも信頼される評価を頂きました。開設後、スムーズに業務が遂行できており、坂井るみ子、瀬野尾志津香、波多野尚美の3名を理事長賞に推薦いたします。

内 容

COVID-19感染状況は、8月にこれまでにない感染者数となり第5波のピークを向かえていました。さらに、在宅療養者が医療機関にかかることができず、亡くなる事例も起き医療崩壊とも言える状況となっていました。

そこで、少しでも困っている人達に貢献することを目的に、回復期リハビリテーション病院からCOVID-19病院として9月27日より18床で開設することに病院として決定されました。開設にあたり職員の感染対策防止に対する教育が課題となりました。ガウンテクニック、手洗いの研修は、2回/年実施していましたが、確実に職員それぞれが出来ているかと言えば、はなはだ疑問が残る状況でした。職員が感染のキャリアにならないために、「確実な感染対策を実施しなければならない」という病院からの命題を受け、看護部の坂井るみ子看護師、瀬野尾志津香、波多野尚美看護師を中心として、全職員の標準予防策の教育に取り組むことになりました。

はじめに、全職員のリストおよび研修実施日のスケジュール作成をしました。その後、実際に病棟のゾーニングに従い、PPE着脱、適切な手洗いについての実演もしてもらい、チェックシートに従い評価し、不合格者については指導後、再実演に取り組んでももらいました。結果、開設前日までに全員の評価を終了し、COVID-19病院として開設することができました。さらに、9月28日に2名の入院患者さんに対して、戸惑うことなくスムーズに受け入れができました。

今回取り組んでくれた3名の看護師は、自ら練習を何回か行いお互いに評価し合い、全職員の指導を行っています。結果、他職種からの評価は、分かりやすく、優しく指導をしてくれたと良い評価を頂くことができました。

COVID-19患者に対して、過剰な恐怖心をもつことなく全職員が、安全に安心して適切な医療を提供できるようにしたことは、病院にとって大きな貢献であったと思います。

10月に入りCOVID-19感染状況は落ち着いて来ていますが、入院される方はおります。次の感染に備え、さらに感染対策を見直しブラッシュアップしていきたいと思っています。